

平成17年度八潮市一般会計予算は 205億3,000万円です 前年度比 15パーセント減

平成17年度一般会計および特別会計当初予算などが、第1回市議会定例会(2月28日～3月18日)に提出され、原案のとおり可決されました。

予算編成方針

本市の平成17年度の予算は、極めて厳しい財政状況下での限られた財源の中で、「第4次八潮市総合計画基本構想・基本計画」で定めた将来都市像「市民が主役 いきいき やしお」を目指し編成したものです。

編成にあたっては、行政評価等に基づく事務事業の見直し、経費の節減、合理化を積極的に取り組みました。また、効率的で持続可能な財政運営が図られるよう、既定概念にとらわれず施策の厳選に努めました。

この結果、一般会計の予算額は205億3,000万円、前年度に比べて15パーセント減少しました。前年度の予算には、平成7年度および平成8年度発行の住民税等減税補てん債16億2,150万円の借り換え分が含まれているため、これを除いた205億4,350万円と比較すると、前年度比8.9パーセントの減少となります。

主な新規・重点事業

本市の最重要施策である「つくばエクスプレス関連経費」を始めとする都市基盤整備、福祉・教育の充実などに配慮しながら、限りある財源で最大限の効果が得られるよう、事業効果が大きく緊急不可欠な施策を中心に、

- 重点的かつ効果的な配分をしました。
- 〔企画・総務〕
 - コミュニティバス実証運行補助事業
新たに運行されるコミュニティバスの運行事業者に対し、補助金を交付します。
 - DV被害者支援事業
DV(配偶者等からの暴力)被害者の自立に向けた生活再建のための活動を支援します。
 - 公共施設における住民票等取り扱い事務
新たに、ゆまにて(勤労青少年ホーム)で住民票等の発行を行います。
- 〔福祉〕
 - 知的障害者生活サポートセンター整備事業
知的障害児(者)の地域生活を支援するため、一時預かりや送迎サービスなどを行う施設を整備します。
 - 母子家庭自立支援給付金
母子世帯の自立を支援するため、就業に役立つ技能・資格の取得に要する受講料等を対象に助成します。
 - 認可保育所移行促進事業
待機児童の解消を図り、低年齢児の受け入れを容易にするため、社会福祉法人による認可保育所の設置を促進します。
- 〔生活環境〕
 - モデル地区ペットボトル分別収集
モデル地区を2カ所設定し、ペットボトルの分別収集を行うとともに、公共施設での拠点収集を実施します。
 - 八潮駅周辺自転車の放置防止および自転車等駐車場整備事業
駅高架下に、通勤・通学者の自転

車等の駐車を整備します。また、自転車の放置を防止するための啓発や、放置された自転車等の撤去および一時保管を行います。

○地域防災計画(風水害編)策定
現在の地域防災計画の見直しを図り、風水害編の策定を行います。

〔商工業振興〕
○若年者就労支援事業
若年者の就労活動を支援するため、ゆまにてインターネットを利用した就職情報等の提供や若年者向けの各種講座等を開催します。

○中小企業小口金融融資制度
市内の中小企業の経営安定を図るため、小口金融融資に必要となる資

金を市内金融機関に預け、20倍の融資金で貸し付けます。

〔都市基盤整備〕
○景観まちづくり推進事業
景観に配慮したまちづくりの指針となる計画を策定するとともに、景観まちづくりを進める団体を対象に活動費の一部を補助します。

○つくばエクスプレス開業記念事業
つくばエクスプレスの開業に合わせて、記念式典および各種イベントを実施します。

○八潮駅前広場施設整備事業
だれもがバス等を快適に利用できるよう、八潮駅北口に風雨等を防ぐバスシェルターおよび誘導案内板を整備します。

〔教育〕
○小学校施設改修事業
小学校の非常階段改修工事およびプール改修工事等を行います。

〔消防〕
○消防車両(ポンプ車)の更新
消防力の強化充実を図るため、老朽化した消防ポンプ車1台およびポンプ積載車2台を更新します。

会計別予算総括表

会計区分	年度		比較 C(A-B)	対前年度比 C/BX100
	平成17年度 予算額 A	平成16年度 予算額 B		
一般会計	20,530,000	24,165,000 (22,543,500)	△3,635,000 (△2,013,500)	△15.0 (△8.9)
特別会計	20,628,275	18,482,315	2,145,960	11.6
国民健康保険	7,991,300	7,129,226	862,074	12.1
公共下水道	3,526,000	2,788,000	738,000	26.5
老人保健	3,280,159	3,261,779	18,380	0.6
稲荷伊草第一土地区画整理	0	56,913	△56,913	皆減
稲荷伊草第二土地区画整理	93,425	99,139	△5,714	△5.8
鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理	203,329	276,309	△72,980	△26.4
大瀬古新田土地区画整理	546,767	522,071	24,696	4.7
西袋上馬場土地区画整理	207,704	160,007	47,697	29.8
南部東一休型特定土地区画整理	2,808,000	2,304,000	504,000	21.9
介護保険	1,971,591	1,884,871	86,720	4.6
上水道事業会計(企業会計)	2,998,694	2,850,648	148,046	5.2
合計	44,156,969	45,497,963	△1,340,994	△2.9

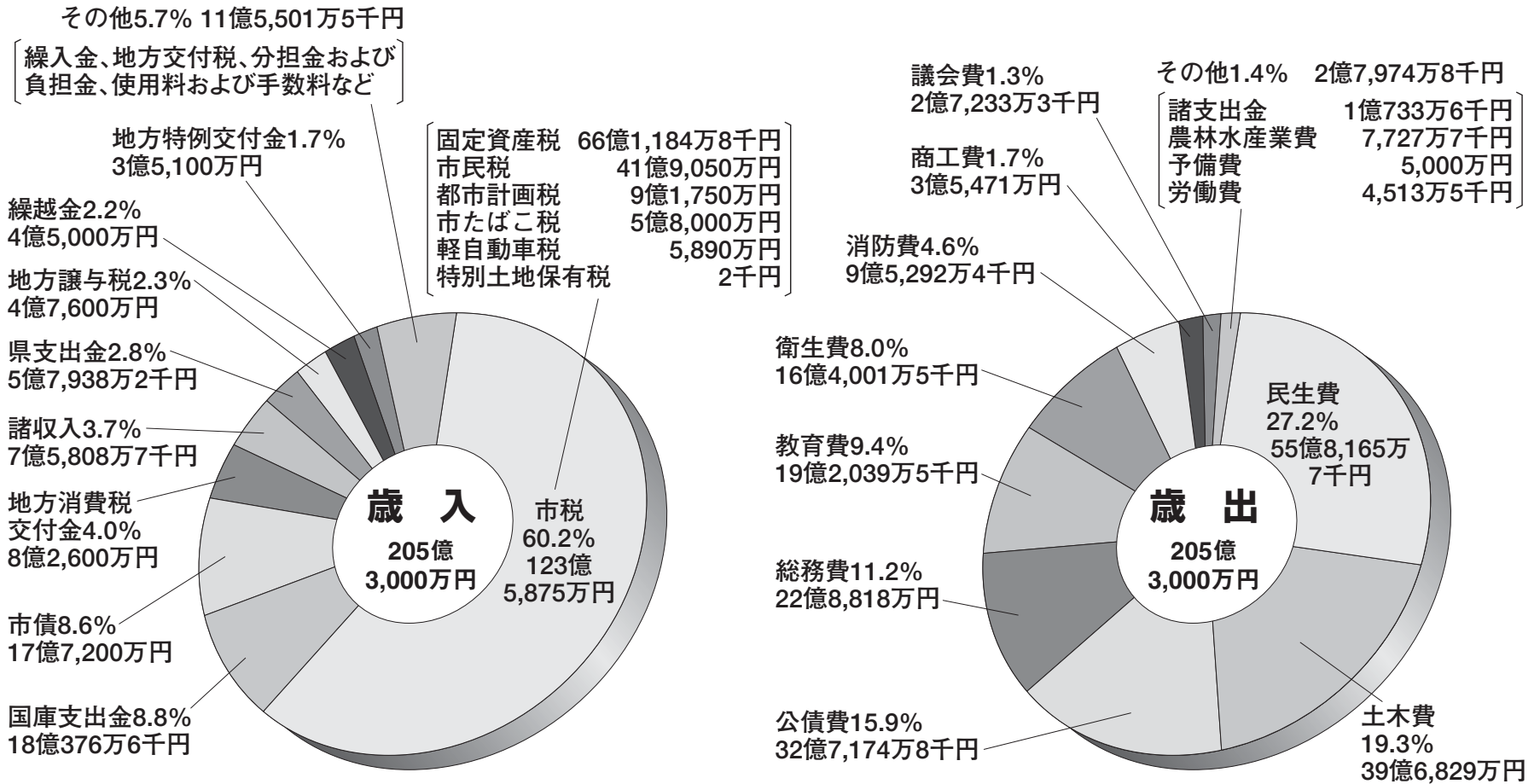
*カッコ内は、平成7年度および平成8年度発行の住民税等減税補てん債「1,621,500千円」の借り換え分を除いた実質額で表示

当初予算における重点事業(新)新規事業・(拡)拡充事業

将来都市像である「市民が主役 いきいきやしお」を実現するために、6つの基本目標(分野別の柱)を掲げ、さまざまな事業を展開していきます。

<h3>1 かいてき</h3> <p>新時代を支える都市の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 コミュニティバス実証運行補助事業…………… 10,537千円 新 景観まちづくり推進事業…………… 3,120千円 新 つくばエクスプレス開業記念事業…………… 2,000千円 新 八潮駅前広場施設整備事業(駅北口案内板・バスシェルター) 150,000千円 	<h3>2 やすらぎ</h3> <p>心やすらぐ安全な生活環境の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 一般廃棄物処理基本計画作成…………… 3,500千円 新 モデル地区ペットボトル分別収集委託…………… 2,984千円 拡 交通安全施設整備事業…………… 15,342千円 新 八潮駅周辺自転車の放置防止および自転車等駐車場整備事業 29,450千円 拡 地域防災計画(風水害編)策定…………… 1,500千円
<h3>3 ふれあい</h3> <p>明るく生きがいにみちた社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 生活保護受給者就労促進事業…………… 916千円 新 知的障害者生活サポートセンター整備事業…………… 26,600千円 新 母子家庭自立支援給付金…………… 600千円 新 中央保育所空調機器整備事業…………… 830千円 新 認可保育所移行促進事業…………… 2,010千円 	<h3>4 ちから</h3> <p>活気あふれる産業の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 若年者就労支援事業…………… 894千円 小口金融融資預託金…………… 106,000千円 拡 商工振興審議会(シンポジウムの開催)…………… 288千円 市民農園整備事業(附帯施設整備の充実)…………… 2,868千円
<h3>5 はぐくみ</h3> <p>明日の八潮を担う人づくり環境の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 DV被害者支援事業…………… 134千円 拡 小学校施設改修事業…………… 37,532千円 新 潮止中学校空調機器整備事業…………… 1,256千円 拡 地域の人材活用事業…………… 1,578千円 	<h3>6 すいしん</h3> <p>市民に開かれた計画的な行政推進体制の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 やしお生涯学習まちづくり財団記念事業補助金…………… 1,000千円 拡 郵便局・公共施設における住民票等取り扱い事務…………… 3,506千円

一般会計の歳入・歳出予算


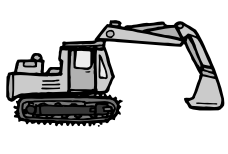

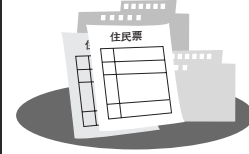
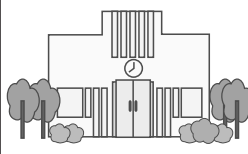



市税……… 市民税や固定資産税など
 国庫支出金……… 市が行う特定の事務・事業に対して、国から支払われるお金
 市債……… 公共施設整備などのために、市が国や金融機関から借りるお金
 地方消費税交付金……… 消費税のうち、八潮市分として配分されるお金
 諸収入……… 学校給食費や有価物を売って得たお金など
 県支出金……… 市が行う特定の事務・事業に対して、県から支払われるお金
 地方譲与税……… 国税として徴収した税のうち、八潮市分として交付されるお金
 繰越金……… 前年度から次の年度に持ち越したお金
 地方特例交付金……… 税の減収の一部を補てんするため、八潮市分として交付されるお金

民生費……… 高齢者・障害者・児童の福祉などに使うお金
 土木費……… 道路の建設・公園の整備などに使うお金
 公債費……… 市が借りた、土木債・教育債などの返済に使うお金
 総務費……… 住民票などの発行、庁舎の維持・管理などに使うお金
 教育費……… 学校の管理、図書館、スポーツ振興などに使うお金
 衛生費……… ごみの処理、保健・環境衛生などに使うお金
 消防費……… 消防力・救急力の強化に使うお金
 商工費……… 商工業の発展などに使うお金
 議会費……… 議会の運営に使うお金
 その他……… 農業振興、労働施策などに使うお金

平成17年度一般会計予算を市民1人あたりに例えると…

八潮市の平成17年度予算総額205億3,000万円を、市民76,166人(平成17年1月1日現在)で分けた割合で、予算の主要項目の金額に当てはめてみました。(金額の端数は、適宜調整していますので目安としてとらえてください。)

収 入	市民1人当たりが納める市税		国庫・県支出金	市債発行	その他	
		市民税(5万5千円)・固定資産税(8万7千円)・都市計画税(1万2千円)など		国や県から支払われるお金	借入金	地方消費税交付金など
	16万2千円		3万2千円	2万3千円	5万3千円	
支 出	民生費	土木費	公債費	総務費	教育費	その他
	高齢者・障害者・児童の福祉に 	道路や公園の整備に 	借入金の返済に 	住民票の発行、庁舎の維持管理に 	学校の管理、図書館に 	その他のものに 
	7万3千円	5万2千円	4万3千円	3万円	2万5千円	4万7千円

市民1人あたりに使われる総額 27万円

市民1人当たりが納める市税16万2千円に対し、支出の中で高齢者・障害者・児童の福祉に使われる民生費が7万3千円と最も多く、続いて道路や公園の整備に使われる土木費の5万2千円と、借入金の返済(公債費)の4万3千円を合わせると16万8千円となり、すでに市税を超えることになります。また、住民票の発行・庁舎の維持管理など(総務費)に3万円、学校の管理や図書館、スポーツ振興など(教育費)に2万5千円を支出しています。収入の不足分は、国・県の支出金や借入金でやり繰りしています。